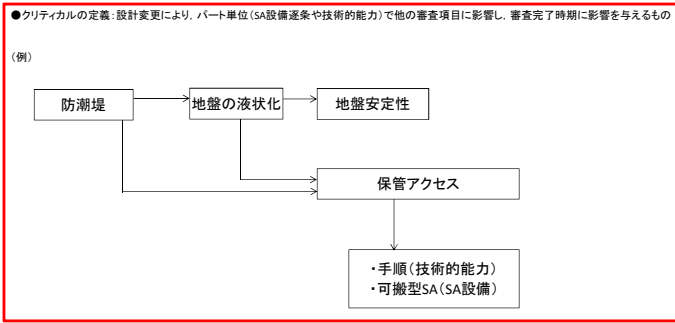




今後の審査の進捗、資料提出の状況により変更の可能性有り。

主要な審査項目	審査状況	審査回数	審査委員会 実績回数 <sup>※1</sup>	審査委員会 至近実績	準備状況 (%) <sup>※2</sup>	平成29年							平成30年							備考																																				
						10月					11月					12月					1月					2月					3月					4月					5月					6月					7月					
						2	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	18	25	1		8	15	22	29	5	12	19	26	2	9	16	23	30	7	14	21	28	4	11	18	25	2	9	16	23	30										
有効性評価	原子炉格納容器限界温度・限界圧力	1回	H27.3.3	100	100	[Gantt chart showing completion in late 2019]														格納容器破損防止と併せて説明																																				
	-炉心損傷防止	8回	H30.5.17	100	100	[Gantt chart showing completion in mid-2020]																																																		
	健全流動力電源喪失時に速がし安全弁開閉差が重要なる事故(TBP過の対策について)	0回	—	—	—	[Gantt chart showing start in late 2020]																																																		
	中小破断LOCA時の破断面積について	1回	H30.5.17	100	100	[Gantt chart showing completion in mid-2020]																																																		
	格納容器破損防止	4回	H28.9.15	90	90	[Gantt chart showing completion in mid-2020]														代替循環冷却系のSA化に伴う新規評価のため 解析入力データ誤りの原因と水平展開																																				
	格納容器下部への初期水張り水位の適切性について	0回	—	—	—	[Gantt chart showing start in late 2020]																																																		
	シェルアタックを除外する理由について	0回	—	—	—	[Gantt chart showing start in late 2020]																																																		
	コリウムシールドの設置について	0回	—	—	—	[Gantt chart showing start in late 2020]																																																		
	-使用済み燃料貯蔵設備（使用済み燃料貯蔵槽内の燃料損傷防止対策）	3回	H30.5.17	100	100	[Gantt chart showing completion in mid-2020]														炉心損傷防止と併せて説明																																				
	-停止時（運転停止中原子炉における燃料損傷防止対策）	2回	H30.2.8	100	100	[Gantt chart showing completion in early 2020]																																																		
-シーケンス選定 (PRA)	10回	H30.5.8	95	95	[Gantt chart showing completion in mid-2020]														Saハザード評価と併せて説明																																					
測定レベル1PRAより抽出したシーケンスグループ	3回	H30.5.8	95	95	[Gantt chart showing completion in mid-2020]																																																			
-解析コード	(BWR電力会同にてご説明済)	4回	H27.10.15	—	—	[Gantt chart showing completion in early 2020]																																																		
-SA共通	—	—	—	—	—	[Gantt chart showing completion in early 2020]																																																		
設備・手順	重大事故等対処設備他 (43条他)	0回	—	100	100	[Gantt chart showing completion in early 2020]														関連、有効性評価																																				
	保管アクセス(43条他)	1回	H28.11.18	90	90	[Gantt chart showing completion in early 2020]														関連、新装置の地盤の液状化 新たに設定したSaに対する評価反映のため																																				
	備付 周辺斜面の安定解析について	0回	—	—	—	[Gantt chart showing start in late 2020]																																																		
	共通事項(1.0)	0回	—	95	95	[Gantt chart showing completion in early 2020]														先行プラント審査による評価を反映のため																																				
	-SA設備逐条(44条~59条)	11回	H30.5.17	90	90	[Gantt chart showing completion in mid-2020]														関連、43条保管アクセス、有効性評価 柏崎刈羽6・7号炉の技術的知見等反映のため																																				
	備付 注水用ヘッジの運用について	2回	H30.5.17	90	90	[Gantt chart showing completion in mid-2020]																																																		
	-SA設備逐条(60条~62条)	5回	H30.5.8	90	90	[Gantt chart showing completion in mid-2020]														保管場所見直しに伴う評価反映のため																																				
	-技術的能力(1.1~1.19)	0回	—	95	95	[Gantt chart showing completion in early 2020]														関連、43条保管アクセス 先行プラント審査による評価を反映のため																																				
	-技術的能力(2.1)	0回	—	80	80	[Gantt chart showing completion in early 2020]														関連、DB、SA審査全般 関連審査および先行プラント審査による評価を反映のため																																				
	有毒ガス防護に係る対応	1回	H30.5.10	80	80	[Gantt chart showing completion in early 2020]														原子炉制御室・緊急時対策所の居住性として示す																																				
	火山影響等発生時の体制整備等に係る措置	0回	—	—	—	[Gantt chart showing start in late 2020]																																																		
新たな規制項目への対応	地震時の燃料被覆管閉じ込め機能	0回	—	—	—	[Gantt chart showing start in late 2020]																																																		
	格納容器の過圧破損を防止するための格納容器代替復原閉塞	0回	—	—	—	[Gantt chart showing start in late 2020]														関連、有効性評価																																				
	使用済み燃料貯蔵槽から発生する水蒸気による影響を防止するための対策	1回	H30.5.17	100	100	[Gantt chart showing completion in mid-2020]																																																		
	原子炉制御室の居住性を確保するためのフローアウト/ネルの閉止機能	1回	H30.5.17	100	100	[Gantt chart showing completion in mid-2020]														原子炉制御室又は炉心損傷防止 (ISLOCA)と併せて説明																																				
	健全流動力電源喪失を想定した事故シーケンスの分類	0回	—	—	—	[Gantt chart showing start in late 2020]																																																		
添付書類5(技術的能力)	0回	—	—	—	—	[Gantt chart showing start in late 2020]														体制・教育・有資格者数を説明																																				

※1 平成26年1月から本審査会までの実績  
 ※2 実施中の評価、先行プラント審査の反映量の程度に応じて設定



女川原子力発電所2号炉 説明スケジュール(耐震関係)(前回ご説明(2018.5.8審査会合)からの変更点)

別紙1

平成30年5月17日  
東北電力株式会社

		平成29年度												平成30年度												備考																								
		10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月				6月			7月																				
		2	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	18	25	1	8	15	22	29	5	12	19	26	2	9	16	23	30	7	14	21	28	4	11	18	25	2	9	16	23	30									
耐震設計方針(第4.39条)																																																		<ul style="list-style-type: none"> <li>[凡例]</li> <li>■ : 審査会合実施中の項目</li> <li>□ : これまで審査会合を実施していない項目</li> <li>▽ : クラリティアップとなる項目</li> <li>● : 審査会合希望時期</li> <li>▲ : 当該資料提出時期</li> </ul>
① 基準適合(共通)																																																		
1 第4条:地震による損傷の防止																																																		各論点,各条文中に係る審査の反映
1 耐震設計方針本文		90%																																																各条文中に係る審査の反映 SA設備審査の反映
2 設計用地震力		100%																																																先行プラントの審査状況を踏まえ体系的整理 先行プラントの審査状況を踏まえ再評価 新たに設定した基準地震動に対する評価反映
3 動的機能維持の評価		85%																																																動的機能維持に係る技術基準解釈等の改訂の反映
4 弾性設計用地震動Sd-静的地震力による評価		100%																																																動的機能維持に係る技術基準解釈等の改訂の反映
5 上位クラス施設の安全機能への下位クラス施設の波及影響の検討		90%																																																各条文中に係る審査の反映 SA設備審査の反映
6 水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価方針		85%																																																先行プラントの審査状況を踏まえ体系的整理 新たに設定した基準地震動に対する評価反映
7 屋外重要土木構築物の耐震評価における評価選定の考え方		80%																																																先行プラントの審査状況を踏まえ再評価 新たに設定した基準地震動に対する評価反映
2 第39条:地震による損傷の防止																																																		
1 耐震設計方針本文		90%																																																SA設備審査の反映
2 重大事故等対処施設の設備分類		85%																																																SA設備審査の反映
3 設計用地震力		90%																																																SA設備審査の反映
4 重大事故等対処施設の基本構造等に基づく既往の耐震評価手法の適用性と評価方針		85%																																																SA設備審査の反映
5 重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せ		95%																																																有効評価審査の反映
② 論点「既工区との差異(建物・構築物)」																																																		
1 東北地方太平洋沖地震等による影響を踏まえた建築耐震設計方法への反映		90%																																																建築の初期剛性低下の要因分析等の詳細工程を見直し
1 初期剛性低下の傾向と要因分析																																																		
2 初期剛性低下の要因を踏まえた地震応答解析モデルの策定		90%																																																初期剛性低下の要因を踏まえた地震応答解析モデルの策定
3 設備への影響検討		80%																																																初期剛性低下の要因を踏まえた設計系に取込み
4 設計体系に反映すべき事項		80%																																																初期剛性低下の要因を踏まえた設計系に取込み
2 建築地震応答解析における入力地震動の算定		100%																																																新たに設定した基準地震動に対する評価反映
3 弾塑性解析の適用																																																		
1 応力解析モデル(建物・構築物)への弾塑性解析の適用		90%																																																新たに設定した基準地震動に対する評価反映
2 原子炉建屋屋桁トラスの解析モデルへの弾塑性解析の適用		80%																																																新たに設定した基準地震動に対する評価反映
③ 論点「既工区との差異(屋外重要土木構築物)」																																																		
1 解析手法の精緻化																																																		
1 時刻歴応答解析の適用		90%																																																ヒアリングを踏まえて論点を再整理 新たに設定した基準地震動に対する評価反映
2 境界状態設計法の適用		90%																																																ヒアリングを踏まえて論点を再整理 新たに設定した基準地震動に対する評価反映
2 解析モデルの精緻化																																																		
1 3次元非線形モデルの適用		90%																																																関連:耐震1.3.5(管束接続部) ヒアリングを踏まえて論点を再整理 新たに設定した基準地震動に対する評価反映
3 後施工せん断補強工法の適用		90%																																																新たに設定した基準地震動に対する評価反映
④ 論点「既工区との差異(機器・配管)」																																																		
1 原子炉本体の基礎の複元力特性の変更		90%																																																新たに設定した基準地震動に対する評価反映 検証との連携分析結果の反映
2 使用評価料許容ラックの減算定数の変更		100%																																																新たに設定した基準地震動に対する評価反映
3 機器・配管系設備に関するその他の手法の相違点																																																		
1 サプレッションチェン(内部排水質量の考え方変更)		90%																																																新たに設定した基準地震動に対する評価反映
2 原子炉建屋クレーンへの非線形時刻歴応答解析の適用		90%																																																耐震設計方針に統合
3 燃料交換機への非線形時刻歴応答解析の適用		70%																																																耐震設計方針に統合
4 海水ポンプ室型クレーンへの非線形時刻歴応答解析の適用		80%																																																重要案件を優先
5 電機防護ネットへのゴム支承の適用		75%																																																新たに設定した基準地震動に対する評価反映
6 立形ボンプの解析モデルの精緻化		100%																																																重要案件を優先
7 最新知見として得られた減算定数の適用		90%																																																重要案件を優先
8 水平方向と鉛直方向の動的地震力の二乗和平方根(SRSS)法による組合せ		90%																																																重要案件を優先
9 鉛直方向応答解析モデルの追加		90%																																																重要案件を優先
4 機器・配管系設備の既工区からの構造変更		90%																																																改訂工事の最新状況反映
⑤ 地盤の現状化																																																		
1 地盤の現状化																																																		
1 現状化評価の基本方針		90%																																																関連:耐震1.4(構築物評価,耐震選定評価後の構造適合性 先行プラント審査による評価等も反映)
2 現状化強度試験とその代表性評価		90%																																																関連:耐震1.4(構築物評価,耐震選定評価後の構造適合性 先行プラント審査による評価等も反映)
3 現状化強度特性の設定とその保守性評価		90%																																																関連:耐震1.4(構築物評価,耐震選定評価後の構造適合性 先行プラント審査による評価等も反映)
4 構築物評価(有効応力解析)		75%																																																関連:耐震1.1~2(地盤の現状化 先行プラント審査による評価等も反映 新たに設定した基準地震動に対する評価反映)

プラント

(クレーン類について,耐震設計方針へ統合し説明)

(防海堤の評価結果は耐津波設計方針-防海堤の構造適合性で説明)

※1 実施中の評価,先行プラント審査の反映量の程度に応じて設定

女川原子力発電所2号炉 説明スケジュール（耐津波関係）（前回ご説明（2018.5.8審査会合）からの変更点）

別紙2

平成30年5月17日  
東北電力株式会社

準備状況 (%)	平成29年																														平成30年																														備考
	10月					11月					12月					1月					2月					3月					4月					5月					6月					7月															
	2	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	18	25	1	8	15	22	29	5	12	19	26	2	9	16	23	30	7	14	21	28	4	11	18	25	2	9	16	23	30																					
耐津波設計方針(第5.40条)																																																													
① 基準適合(共通)																																																													
I. はじめに	90%																																																												
II. 耐津波設計方針について																																																													
1 基本事項																																																													
1 津波防護対象の選定	90%																																																												
2 敷地及び敷地周辺における地形及び施設の配置等	90%																																																												
3 基準津波による敷地周辺の遡上・浸水域	70%																																																												
4 入力津波の設定	70%																																																												
5 水位変動・地盤変動の評価	90%																																																												
6 設計または評価に用いる入力津波	70%																																																												
2 設計基準対象施設の津波防護方針																																																													
1 敷地の特性に応じた津波防護の基本方針	90%																																																												
2 敷地への浸水防止(外郭防護1)	80%																																																												
3 溜水による重要な安全機能への影響防止(外郭防護2)	80%																																																												
4 重要な安全機能を有する施設の隔離(内郭防護)	70%																																																												
5 水位変動に伴う取水性低下による重要な安全機能への影響防止	70%																																																												
6 津波監視	95%																																																												
7 津波影響軽減施設	70%																																																												
3 重大事故等対応施設の津波防護方針																																																													
1 敷地の特性に応じた津波防護の基本方針	90%																																																												
2 敷地への浸水防止(外郭防護1)	70%																																																												
3 溜水による重要な安全機能への影響防止(外郭防護2)	70%																																																												
4 重要な安全機能を有する施設の隔離(内郭防護)	70%																																																												
5 水位変動に伴う取水性低下による重要な安全機能への影響防止	70%																																																												
6 津波監視	90%																																																												
4 施設・設備等の設計・評価の方針及び条件																																																													
1 津波防護施設の設計	70%																																																												
2 浸水防止設備の設計	80%																																																												
3 津波監視設備の設計	95%																																																												
4 施設・設備等の設計・評価に係る検討事項	80%																																																												
② 論点「防潮堤の構造成立性」																																																													
1 防潮堤の構造成立性																																																													
1 設計方針	90%																																																												
2 構造成立性	70%																																																												
③ 論点「取放水路からの流入防止」																																																													
1 取放水路からの流入防止																																																													
1 設計方針	80%																																																												
2 構造成立性	70%																																																												

【凡例】

- 審査会合実施中の項目
- これまで審査会合を実施していない項目
- クリティカルパスとなる項目
- ☆ 審査会合希望時期
- ▼ 通而資料提出時期

※1 実施中の評価、先行プラント審査の反映量の程度に応じて設定